

平成23年4月28日
水産庁

水産物の市況について（平成23年4月及び5月）

—東京都中央卸売市場における平成23年4月（平成23年3月21日～4月20日集計）の市況と、
平成23年5月の市況見通し（前月との比較）—

I 平成23年4月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量（水産物の生鮮品、冷凍品、加工品の合計）は前月並みとなり、卸売価格（水産物全体の1キログラム当たり平均価格）は横ばいに推移しました。

II 平成23年5月の主要品目の市況見通し

「まいわし（生鮮品）」

入荷量は前月並みと見込まれ、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。（主漁場は犬吠埼～房総）

「さけ・ます（塩蔵品・冷凍品）」

入荷量は新物トキサケが季節的に多くなるものの、その他は前月と比べ減少すると見込まれますが、鮮魚よりも塩蔵品・塩干品が消費されていることもあり卸売価格はやや強含みに推移すると見込まれます。

「さば（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、全体的にサイズが小さいこともあり、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

「するめいか（生鮮品・冷凍品）」

入荷量は前月と比べ増加すると見込まれ、卸売価格は弱含みに推移すると見込まれます。（日本海の漁場は富山湾、能登半島以西近海。サイズは40尾主体。）

「あじ（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれ、卸売価格はやや弱含みに推移すると見込まれます。（主漁場は九州西方海域。盛漁期に向けて順調な水揚げが続いている。）

「まぐろ（冷凍品）」

入荷量は前月と比べるとやや減少すると見込まれるものの、春の需要期が過ぎたことから卸売価格は赤身類、脂身類ともに横ばいに推移すると見込まれます。

「かつお（生鮮品）」

入荷量は前月と比べるとやや増加すると見込まれるものの、魚体が大きく需要もあることから、卸売価格は横ばいに推移すると見込まれます。

凡例（目安）

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	並み	横ばい
3～10	やや増加（減少）	やや強（弱）含み
11～20	増加（減少）	強（弱）含み
21～51	かなり増加（減少）	かなり強（弱）含み
51～	大幅に増加（減少）	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)
(単位:千トン、円/kg)

	4月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
23年	50	793	51	806	51	776
前年	56	790	50	788	53	760

注1: 入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。
注2: 入荷量は生鮮品、冷凍品、加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	4月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	375	92	92	71
さけ・ます(平均)	705	99	110	114
(ぎんざけ塩蔵品)	683	100	101	104
(あきさけ塩蔵品)	499	100	121	120
(ときさけ塩蔵品)	850	100	99	126
(べにざけ塩蔵品)	1,050	100	114	119
(さけ類冷凍品)	690	100	117	119
さば(生鮮品)	370	93	116	97
するめいか(平均)	444	102	102	91
(生鮮品)	716	148	83	90
(冷凍品)	358	100	108	106
あじ(生鮮品)	452	88	70	79
まぐろ(冷凍品)	1,259	97	95	93
(めばち冷凍品)	938	98	92	102
(きはだ冷凍品)	767	102	82	99
(くろまぐろ冷凍品)	2,860	100	96	86
(みなみまぐろ冷凍品)	2,138	94	110	97
かつお(生鮮品)	1,250	151	96	92

注1: 品目により、市場で主流となる形態が異なることから、市況を把握する指標としてもっとも適当な形態についての価格データを掲載している。

注2: 4月の価格は1~20日までの速報値。平年とは平成18年~22年の加重平均値。

注3: さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ、アトランティックサーモンが含まれる。

注4: さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5: まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ、みなみまぐろが含まれる。

問い合わせ先: 水産庁加工流通課企画調査班
代表 03-3502-8111
内線 6617 杉田、小林
直通 03-3591-5612